

**漁港整備を推進します**

■地域水産物供給基盤整備事業  
【農林水産業費】(継続) 1億3,503万円  
(農林水産部 海業水産課)

平成14年度から網野町の浜詰漁港を整備しています。

海が荒れていても、生簀(いけす)から魚が捕れて新鮮な魚が食卓へ届けられるように、また漁業者のかたが、安心して漁船が係留できるように防波堤を建設します。

今年度は西防波堤と西護岸の一部を整備します。(全体計画：平成14年度～平成23年度、総事業費10億6,500万円)



整備中の浜詰漁港

**4 商工業の振興**

**産学連携に取り組みます**

■産学連携推進コーディネート事業  
【商工費】(新規) 203万円  
(商工観光部 商工振興課)

まちづくりや人づくり、産業振興のための連携・協力に関する包括協定を結んだ京都工芸繊維大学は、多くの技術シーズや事業ノウハウ・アイデアを持っています。

これらを市民のみなさんに紹介するため、大学の研究者や、実際に大学と共同で研究事業を行っている市内の事業者のかたに事例を発表していただき、今後の産学連携を考える産学官連携フォーラムを開催する予定です。

また、大学で公募した、市内の多彩な地域資源を活用した起業アイデアの発表会や、京都工芸繊維大学京丹後キャンパスにおいて、生涯学習講座や産学連携に向けた相談会なども予定しています。



昨年度オープンした「京都工芸繊維大学京丹後キャンパス」

これらを

通して、技術的課題や経営課題の解決、新商品・新製品の開発など、大学との交流に意欲を示す事業者のみなさんが、大学の研究者による指導を仰いだり、共同研究などを進めていくことができるように支援していきます。

**技術シーズ**

大学などで生まれた研究成果や新しい可能性を秘めた技術のことです。

**商工業の活性化のために**

■商工業活性化交流事業  
【商工費】(新規) 111万円  
(商工観光部 商工振興課)

4月に合併した京丹后市商工会の合併記念事業にあわせて、7月にフォーラムを開催します。

まちづくりの気運を高めるとともに、商工業などの活性化について考える機会とします。

また、10月ごろには市内の産業人と大阪丹後人会との交流会を開催します。企業誘致や販路開拓などについての情報や意見を交換し、産業振興に役立てます。



四月にオープンした商工活性化センター

■青年会議所近畿地区会員大会の開催支援  
【総務費】(新規) 600万円  
(企画政策部 企画推進課)

今年7月に「青年会議所近畿地区会員大会」が、京丹後市内で開催され、多くの若手経済人が集うことから、開催について支援するとともに、京丹後市の魅力を広くPRします。



昨年度の「近畿地区会員大会」

■行政版・知的資産経営報告書の作成  
【総務費】(新規) 36万円  
(企画政策部 総合戦略課)

市政の戦略的な経営を行うため、市内各分野の知的資産を探り出し、それらを活用するための取り組みを提示した「知的資産経営報告書」を、京都工芸繊維大学と連携して作成します。

全国で初めての行政版の報告書となり、行政経営や地域経営の先導的なツール(道具)となります。

**知的資産経営報告書**

一般には民間企業で作成され、企業経営・企業活動に有効なものとして、平成17年10月に経済産業省から開示ガイドラインが示されています。

**丹後ちりめんを全国にアピールします**

■丹後ファッションウィーク開催委員会の支援  
【商工費】(継続) 450万円  
(商工観光部 丹後の魅力総合振興課)

丹後ちりめんに代表される丹後織物の全国へ向けたPRや、丹後ちりめんを使った新商品の開発など、多角的な展開に向けた取り組みを行う丹後ファッションウィーク開催委員会を支援します。



“Tango Silkの高付加価値化”  
丹後ちりめんの新しいスタイルを提案

**丹後の機械金属産業のさらなる振興を図ります**

■機械金属産業総合振興事業補助金  
【商工費】(継続) 250万円  
(商工観光部 商工振興課)

中小企業でのものづくりのメッカである東大阪市など、ほかの地域との交流促進による販路開拓事業や、丹後機械工業協同組合の行う新技術・新商品の開発の取り組みを支援します。

昨年度には、京都工芸繊維大学の研究成果と地元企業の技術を融合させて、「卓上型精密レーザー加工機」の共同開発を行いました。

今年度は、さまざまな条件設定による試験加工を重ねるとともに、技術市場の調査研究を行いながら、実用化に向けての改造や販売チャンネルの確保に向けての取り組みを行います。



昨年度、大阪市内で開催された「テクノメッセ大阪2006」に初めて出展

**5 観光の振興**

**魅力あふれる観光地をめざして**

■市民ぐるみの観光ネットワークの推進  
【商工費】(新規) 70万円  
(商工観光部 観光振興課)

観光客が、市内の観光施設を周遊しやすくなるために、案内地図や施設割引券の作成をはじめ、商店などが観光ガイドをするなど、市民ぐるみの観光ネットワークを推進する取り組みを支援します。



市民のみなさんも一緒に観光PR

■薬草活用の調査  
【総務費】(新規) 103万円  
(企画政策部 総合戦略課)

市内の野山に自生する薬草を食材や染色に活用するため、専門家を招いて栽培研究を行います。

また、平安時代に編さんされた「延喜式」で、朝廷に献上されたといわれている、24種類の薬草を宇川温泉よし野の里薬草園で再現します。



宇川温泉よし野の里薬草園